

交通事故死ゼロ3千日達成



交通事故死ゼロ日数の掲示板
を3,000日に更新する町職員

宮本署長から感謝状を受け取る
滝本町長



妹背牛町は、6月21日に交通事故死ゼロ3,000日を達成しました。これを受け、7月16日には町役場で感謝状贈呈式が行われ、深川警察署の宮本圭一署長から、町交通安全推進委員会会長を務める滝本昇司町長へ感謝状が贈られました。

3,000日を達成するのは今回で2回目。前回は平成28年11月12日に達成しており、今回も町ぐるみで交通安全に取り組んできた成果が実を結びました。

自衛官募集へ協力誓う



自衛官募集相談員の委嘱状交付式

自衛官募集相談員の委嘱状交付式が6月19日、町役場で開かれ、鶴飼英雄さんと中易利則さん、佐藤主税さんを任命しました。任期は2年間で、地域と自衛隊をつなぐ役割を担います。

交付式には、滝本昇司町長、自衛隊旭川地方協力本部の松坂仁志本部長らが出席。委嘱状を手渡した松坂本部長は「厳しい募集環境の中で一定の成果を上げているのは、皆様のご協力のおかげです」と話しました。

地域貢献活動に感謝状



感謝状の贈呈式に出席した、右から藤岡代表取締役、滝本町長、天間会長

妹背牛町は7月8日、地域貢献活動に尽力した藤岡妻神株式会社（藤岡靖士代表取締役）と妹背牛建設業協会（天間敏幸会長）7社へ感謝状を贈呈しました。

藤岡妻神株式会社は、遊水公園つらら・モニュメント広場の石板や水路の補修を実施。妹背牛建設業協会は、倒木の危険性があつた中学校のシラカバ4本を伐採し、安全な教育環境づくりに貢献しました。

贈呈式では、滝本昇司町長が藤岡代表取締役と天間会長に感謝状を手渡しました。

夏の交通安全運動で旗の波



道ゆくドライバーに安全運転を呼びかける参加者たち

夏の交通安全運動（7月13日～22日）期間中、妹背牛町内の関係団体が道道深川雨竜線沿いのわかし愛もせうしひろば前で旗の波街頭啓発を行い、道ゆくドライバーに安全運転を呼びかけました。

13日に行われた街頭啓発には、交通安全協会や老人クラブ連合会などから60人が参加。「交通安全」と書かれた黄色い旗を持って沿道に並び、飲酒運転の根絶などを呼びかけました。

日本マーキングに感謝状贈呈



滝本町長から感謝状を受け取る
鎌澤常務取締役

公共施設の環境美化に貢献したとして、妹背牛町は6月30日、日本マーキング株式会社（本社・札幌、中谷一成・代表取締役）に感謝状を贈呈しました。

同社は6月4日、地域社会貢献活動の一環として、町内の営住宅7棟で駐車場の区画線塗装を行いました。

この日は、鎌澤学・常務取締役が町役場を訪れ、滝本昇司町長から感謝状を受け取りました。

犯罪のない明るい社会の実現に



滝本町長（左）に内閣総理大臣のメッセージを伝達する清澤支部長ら

第76回「社会を明るくする運動」に合わせ、深川地区保護司会妹背牛支部の清澤哲弘支部長ら3人が7月1日、町役場を訪れ、滝本昇司町長に内閣総理大臣のメッセージを伝達しました。

メッセージでは、犯罪や非行を防止するとともに、立ち直ろうとする人を地域で支え、誰もが安心して暮らせる明るい社会を築いていくことの大切さを呼びかけています。

妹中出身の大崎さん 走幅跳で全国へ



全道大会で4位入賞し、インターハイ出場を決めた大崎さん

今年3月に妹背牛中学校を卒業した北海道栄高校1年の大崎礼さんが、第79回北海道高等学校陸上競技選手権大会の男子走幅跳で4位入賞を果たし、全国高等学校総

合体育大会（インターハイ）への出場を決めました。

大崎さんは6m92をマークし、全道各支部を勝ち抜いた58人の中から上位6人に与えられる出場権を獲得。7月30日から滋賀県で開催されるインターハイに出場し、31日の男子走幅跳で全国の舞台に挑みます。

農業者年金受給者の会 親睦交流会



コンサート会場で記念写真に収まる会員たち

妹背牛町農業者年金受給者の会（高橋久夫会長）の会員10人は6月18日、深川市文化交流ホール「みらい」で開催された「夢コンサート」を鑑賞しました。

親睦交流会の一環。会員たちは演歌界を代表する歌手・千昌夫さんから出演者の歌声を楽しみました。

また同会は現在、会員を募集しており、申し込みは町農業委員会（TEL 34・8584）へ。

英語に親しみながら楽しく交流



参加者に英語でのあいさつを教えるキーシャ先生

妹背牛町教育委員会は7月7日、町民会館で第1回「えいごであそぼう!」を開催しました。

参加者たちは、妹背牛小・中学校でALTとして勤務するキーシャ先生と、地域おこし協力隊のリンさんから、英語でのあいさつを学びました。

次回は8月25日に開催予定です。参加申し込みは、教育委員会（TEL 32・2525）で受け付けています。

全道大会へ向け、決意新たに



全道大会での健闘を誓う野球部と特設陸上部の選手たち

全道大会出場を決めた妹背牛中学校の野球部と特設陸上部は7月13日、町総合体育館を訪れ、廣澤勉教育長を表敬訪問しました。

全道大会に出場するのは、野球部の土田留生さん（3年）、長谷川開人さん（3年）、石原旺雅さん（2年）、梅田悠馬さん（1年）と、特設陸上部の岡部愛莉さん（3年）。選手たちは大会への意気込みを語り、それぞれの舞台での健闘を誓いました。

生花リレーで花き産地をPR



生花を届けた定講支部長（左）と滝本町長

北空知管内の花き生産者でつくる「北育ち元気村 花き生産組合」は、管内の各自治体に生花を届ける「生花リレー」を展開し、花きの生産地をPRしました。

このうち、町内では妹背牛支部長の定講保男さんが7月13日に、地場産のHBSシネンシスやアジサイなどを組み合わせたフラワーアレンジメントを寄贈し、役場正面入り口を彩りました。

甘くておいしいイチゴに笑顔!



おいしそうにイチゴを味わう子どもたち

妹背牛小学校の1、2年生が6月22日、町内のふれあい農園を訪れ、イチゴ狩りを楽しみました。まっ赤に実ったイチゴを摘み取った子どもたちは「あま〜い」「おいしいね」などと、笑顔ではおぼりました。

晴天に恵まれたこの日は、農業技術指導員の佐藤悟さんからイチゴの品種や上手な摘み取り方の説明を受けた後、大粒の品種「けんたろう」の収穫を体験しました。